

～エルサルバドル 生活・柔道指導報告～

第二号

2019年3月1日



青年海外協力隊 2018年度 2次隊
エルサルバドル派遣 石崎 信太郎
(El Salvador) ISHIZAKI SHINTARO

近況報告とエルサルバドル紹介

皆さん、青年海外協力隊でエルサルバドル共和国に派遣されています石崎です。

更新が遅れてしまい申し訳ありませんでした。

前回号に続きまずは近況報告させていただきます。

(活動報告は3ページ目から始まります。)

エルサルバドルに到着してすでに4ヶ月が経過しました。あっという間過ぎて、このままボーッとしていると2年間なんてすぐ終わってしまうなと感じます。

4ヶ月も経つと海外での暮らしにも慣れ、不安だった事もかなり消えていきました。食事の面も、最初のころは、現地の食材が口に合わず、厳しい二年になるかと思っていたのですが、日本食材

店を JICA エルサルバドル事務所所長に教えていただき、現在は難なく生活できております。ただ大学時代、毎日のように食べていた新鮮な魚介類が恋しいです....

語学の方では活動、日常生活での問題は少なくなってきたのですが、友人と話す際や、病院などに行く際はまだまだ理解不能です。(笑)

ところで皆さんの中央アメリカのイメージってどんな感じですか？

私は中央アメリカという地域は知っていましたが、そのイメージ自体「南北アメリカ大陸繋がっているところ」ってくらいの認識で全く関心がなかったし、ましてやエルサルバドルなんて国すら知りませんでした。

そして、まさかこんなところに 7 カ国もあるなんて思いもしませんでした。

さらにその中のエルサルバドルという九州の半分くらいの地に、柔道家が約 2100 名、道場が約 40 箇所ある聞いた時にはもう理解不能です。

それではまずエルサルバドルを少しでも知ってもらうために少しかだけ紹介します。

エルサルバドル共和国の面積 2 万 1040 km²で人口は約 630 万人であり、例えるならだいたい九州の約半分の面積に千葉県全体の人口が住んでいる感覚です。わかりにくいですが、



エルサルバドルは人口の割に国土が狭いです。人口密度でいうと日本と同じくらいです。さらに首都は人口の 3 分の 1 が密集しており、異常な人口になっています。

エルサルバドルの名目 GDP は、中米 7 カ国中、4 位であり、5 位のホンジュラスと変わらない数値で、国民間の格差もかなり大きいです。そんなエルサルバドルを支えているのがアメリカです。

通貨も 2001 年から米ドルに切り替え、首都サン・サルバドルには、マクドナルドやスターバックス、ケンタッキー、タコベル、ウェンディーズなどアメリカ資本の店がたくさんあり、途上国と思えない光景が広がっています。

また内戦があった頃にアメリカへ移住したり、出稼ぎの為にアメリカに渡るケースも多くあり、かなりアメリカに依存した国だと言えます。

私はそんな国の首都に派遣されているのですが、生活は他の派遣されている協力隊員と比べるとかなり生活水準の高い生活が出来ていると思います。

JICA 事務所でのボランティア総会の後に、全員で会食し親睦を深めました。

水、電気、インターネットは安定で、アメリカ資本の店がたくさんあり、日本食も食べられる。

ボランティア連絡所と呼ばれる場所の近くには、下の写真のような回転寿司屋もあります。

15USドルで寿司が食べ放題です。



↑(首都サンサルバドル市にある回転寿司屋「花見」)

首都には、このようなレストランも多くあり、大型ショッピングモール、映画館など充実しています。

エルサルバドルの首都は、アメリカの一部な感じがして、貧富の差を除けば途上国ではないと感じます。

次に最近の日常生活面で一番大きな出来事である新たな仲間、3 次隊の到着です！！！！



↑前列座っている左から二人が三次隊です

新たな仲間はコミュニティー開発隊員と、体育隊員の 2 名！どちらも私の年上の方ですので、

人生の先輩からどんな事を吸収できるか楽しみです。

青年海外協力隊に応募して、看護師や学校の先生、介護士、デザイナー、バリスタ、料理人など様々な経歴を持った方々と出会え、たくさんの事を学ぶこと事が出来ています。

これも青年海外協力隊の大きな魅力の一つだと感じます。新卒の何の社会経験のない私からすると勉強になる事ばかりです。

～活動～

お待たせしました。内容は活動に入ります。

活動が始まり四か月も経つと、何度言っても毎日、練習に来ない生徒や、時間を守れない生徒に対しても温かい目で見守ることが出来るようになってきました。(生徒に対してもコーチに対しても)

ラテンアメリカの文化を感じながら着々と成長しています。

そして2月からエルサルバドルにある約40か所の柔道場に対する巡回指導が始まりました。

最初の柔道の柔道場は、サンマルティン市にある「鳥居道場」です。

この日の生徒は少なかったですが、登録上は45名在籍するそうです。



本人が社会人であったり、親が送り迎えできないなどの理由で基本的には、毎日約20名だそ

うです。

巡回指導をしている中で感じることは「こんな田舎にもこんなにたくさん柔道家がいるのだ」ということです。

エルサルバドルの柔道人口は、先ほども述べた通り、約2100名と言われています。

最初は「そんなにもいるのか？」と疑っていましたが、しかし今まで私が巡回指導に行った道場は5つです。そして、それらの道場の生徒数の合計が約200名です。この国には約40か所の道場があり、さらに学校や、警察も柔道を取り入れています。これらの事を考慮すると、どうやらこの国には本当に2100名以上存在しそうな気がします。

ただ大きな課題が二つあり、「柔道衣が足りない」という事と「指導者不足」です。

先ほどの鳥居道場のコーチは紫帯だし、下の写真のマフ道場のコーチは柔道場を掛け持ちしています。

道衣不足に関しては、中には生徒のほとんどが柔道衣を持っていない道場も存在します。



↑サンマルティン市にあるマフ道場
(着替えてから写真を撮ったので私も私服です..)

こういった道場では、初心者が多いので「体さばき」や「受身」「一本背負」など柔道衣がなくてもできる基本中の基本を指導しています。

しかし2年間それをするわけにもいきませんので、何か解決策を考えたいと思います。

柔道衣不足の件をInstagramで投稿した時に、多くの方から「柔道衣を地元の道場で集めておくる

うか？」や「どうしたら柔道衣をくれるの？」といった質問をいただきました。

そういったメッセージをいただき、多くの人に応援されているなど感じ活動の原動力となっています。本当にありがとうございます。

しかし足りない枚数は1着や2着の話ではなく、エルサルバドルだけでも何千着、さらに世界規模で見れば、何万着と足りていないと思います。

それを個人で負担するのはかなり厳しいものだと思います。

ですので、もし自宅に使わない、眠っているだけの柔道着を寄付していただけるなら、リサイクル柔道衣を募集している団体に送付していただくと、少しでも途上国の為になると感じます。

柔道衣を募集している団体はインターネット等で探すとすぐ見つかると思います。

エルサルバドルでのこの問題に関しては、エルサルバドル柔道連盟と協力し、この国だけで問題を解決することが出来る方法を2年間で見つけていきたいです。

私の配属先、Villa Centroamericana の生徒達には、4月まで試合がないので現在は基礎を徹底して指導しています。



例えば、日本では当たり前のように知られている「相四つは引手から持つ」や「ケンカ四つは釣手から持つ」「相四つは引手の方向に動く」「ケンカ四つは釣手の方に動く」などです。

そこから教えなきゃいけないの？(ナショナルチームですよ)ってことばかりですが、いざ教え

て、生徒達から「なんで？」って聞かれた時に、私自身が「そういえば、なんでだろう？」と勉強させられることばかりです。(笑)

いろいろな本を読み勉強する中で改めて、柔道って深いなあ～～と感じます。柔道人生で今が一番柔道に楽しんで取り組んでいます(笑)

先月は在エルサルバドル大使館が現地報道陣にプレスツアーを行い、私の活動を少し紹介させていただきました。



<https://www.youtube.com/watch?v=W1d24vw-GrE>

↑取材の様子(柔道は55秒あたりから始まります)

エルサルバドルの方々に少しでも、日本からの畳、柔道衣、そして日本人が来て柔道を指導しているということが知ってもらえたと思います。

そして昨年8月に、NPO 法人柔道教育ソリダリティー様から頂いた「リサイクル柔道着」が、ようやく全国のクラブチームに配られました。



私たちエルサルバドル柔道連盟は、日本から、特に柔道教育ソリダリティー様からの、多くの支

最後に

援を受けて活動しています。

そして、その柔道着を提供して下さった日本の柔道家の皆様のご協力があって、こうして私達が活動できています。

本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございます。

更にうれしい事に、柔道教育ソリダリティー様からのリサイクル柔道着の中に、……、

↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓



私の母校である、国際武道大学が所在する勝浦市からリサイクル柔道着が届いていました。

遠く離れた地で、なじみのある地から届いたものを見ると本当にうれしい気持ちになります。

勝浦市の佐藤さん、本当にありがとうございます。エルサルバドルで大切に使用させていただきます。



↑ サンマルティン道場で、日本からのリサイクル柔道着・畳を使用した柔道教室風景

今月も警察署への巡回指導や学校で柔道の授業、首都以外での柔道デモンストレーションなど多くの予定がありますので、次回号で紹介していこうと思います。

最後まで読んでいただきありがとうございます。

この報告書は私が少しでもエルサルバドルの事を日本の皆さんに知ってもらう為、(ここ数年エルサルバドルには、トランジット、エルサルバドルの大使館、JICA スタッフ、ボランティア、バックパッカーを除いて日本人は来ていないそうです (笑))

日本でお世話になった多くの方に報告をする為、私自身の記録用の為、に書くことを決めました。

ですので、毎月というよりは大きな活動、または変化があるたびに書いていこうと思います。2か月に1回、3か月に1回、または1か月に2回などと回数にばらつきが出ると思われますがご了承ください。

ちなみに私のインスタグラム(青年海外協力隊用)の方では日常の小さなことも発信しているので、ぜひそちらの方のリクエストもよろしくお願ひします。

https://www.instagram.com/shintaro_jica/
インスタグラム



Adios! 【アディオス・さようなら】